

## 第142回総会および研究会開催

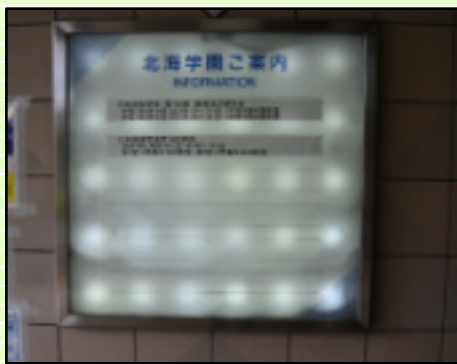
令和7年6月14日～15日

於：北海学園大学

令和7年6月14日・15日の2日間にわたり、第142回日本法政学会総会および研究会が、北海学園大学で開催された。各日程共に多数の会員が集まった。1日目に3報告およびシンポジウム、2日目にはシンポジウムおよび3報告がなされ、非常に充実した内容であった。

【第一報告】梅田皓士会員「韓国における保守政党のリーダーシップと韓国社会」【第二報告】弥久保宏会員「英国ウェールズにおけるセルフガバナンスの進展と限界ーウェールズ分権議会を

中心にー」【第三報告】爲我井慎之介会員「多様な広域連携に向けた『共通政策課題』の可視化に関する予備的研究ー東京大都市圏の基礎自治体を事例としてー」【第四報告】瀬戸山晃一会員「ゲノム医療推進法に基づく基本計画の検討」【第五報告】大林啓吾会員「司法の歴史審査」【第六報告】成瀬トーマス誠会員「勧告的意見における憲法判断」



撮影：広報委員



撮影：広報委員

### 【第一報告】



### 【第三報告】



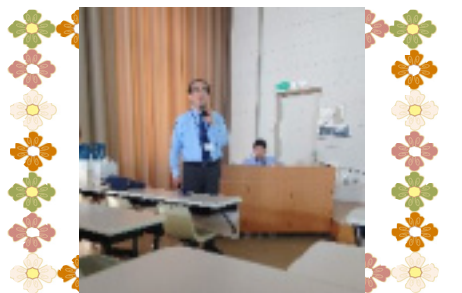
### 【第五報告】



### ～お弁当の様子～



### 【第二報告】



### 【第四報告】



### 【第六報告】



## シンポジウムⅠ・Ⅱ

### 災害からの復興ー日本法政学会からの提案

1日目のシンポジウムⅠは、「災害からの復興ー日本法政学会からの提案ー」というテーマで行われた。

【第一報告】金澤大祐会員「『自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン』に関して」【第二報告】横田将志会員「青森県八戸市の地域『防災』（政治・行政）という観点から」【第三報告】河村和徳会員「『選挙民主主義ならびに市場経済の下での復興の課題』【第四報告】富樫ひとみ会員「災害要配

慮者の復興に向けての福祉的支援における課題」



### 台湾民法の軌跡ー台湾法律史の観点からー

2日目のシンポジウムは、「台湾民法の軌跡ー台湾法律史の観点からー」というテーマで行われた。

【基調報告】王泰升先生(通訳：許仁碩先生)「台湾民法130年における日本の要素」【第二報告】後藤武秀会員「中華民国民法における伝統中国的要素」

同シンポジウムでは、コメンテーターである根岸忠会員を交えて、活発な議論がなされた。

